

第3回 企画展

1995年  
6月27日(火)  
9月24日(日)



プロトケラトプス  
(全身骨格)



コエロドンタ  
(全身骨格)

企画展イベント

7月16日(日) PM1:00~ 講堂・映像ホール

演題: 『モンゴルの恐竜』  
日本の恐竜研究の第一人者  
長谷川善和 博士  
(横浜国立大学名誉教授)

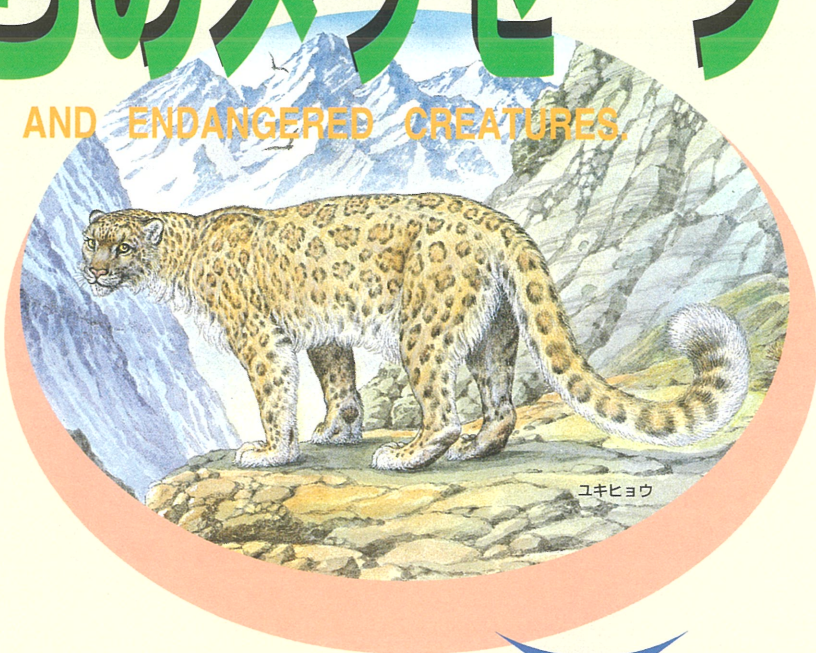
— 緑と水の世界から  
ゴビの砂漠まで —

# 絶滅動物からのメッセージ

MESSAGE FROM EXTINCT AND ENDANGERED CREATURES.



フタコブラクダ



ユキヒョウ

- 主催 ミュージアムパーク茨城県自然博物館  
中華人民共和国内蒙古自治区博物館
- 後援 在日本国中華人民共和国大使館

開館時間 午前9時30分 — 午後5時  
(入場は午後4時30分まで)

休館日 月曜日

●次回企画展 「茨城の自然と芸術」展  
1995年11月3日(文化の日) ~ 12月3日(日) まで

入館料 小・中学生 160円 ( 80円)  
高校・大学生 480円 (320円)  
大人 800円 (640円)

( ) 内は20名以上の団体料金です。  
入館料には常設展・野外入場料を含みます。



ミュージアムパーク

茨城県自然博物館

〒306-06 茨城県岩井市大崎700番地 TEL0297-38-2000  
ハローダイヤル いはらき 029-226-8600 #8886 (プッシュ回線)

# 緑と水の世界からゴビの砂漠まで

From the Realm of Green and Water to the Dry and Windy Gobi.

内蒙古自治区は中華人民共和国の北部に位置しています。北に広がるゴビ砂漠は恐竜化石のメッカとして知られています。

今回の企画展では、内蒙古自治区から産出した動物などの化石や現在数が少なくなっている現生の動物を紹介します。

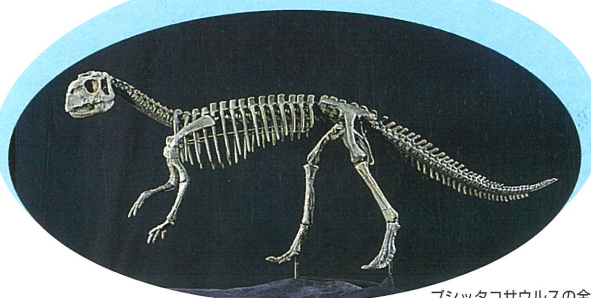
## 第1部

### 「恐竜たちの王国」



バクトロサウルス

中生代白亜紀のプシッタコサウルス、バクトロサウルス、プロトケラトプスなどの恐竜化石やヌオエロサウルスの実物の歯や脊椎骨、砂嵐のような環境の変化により孵化せずに化石となった子供の入った卵化石も見ることができます。



プシッタコサウルスの全身骨格

## 第3部

### 「内モンゴルの絶滅の危機に瀕する希少動物」



フタコブラクダ

サケイ（雉）

近年、経済の発展や人口の増加や開発により生息の範囲がせばまったり、生息地の環境の変化で数が少なくなりつつある内モンゴルの草原、乾燥地帯、山岳などにすむユキヒョウ、ライチョウ、オコジョ、サケイなどの動物を紹介します。

恐竜は自然環境の変化によって絶滅したと考えられています。私たちも未来の人々のために自然環境を保護しましょう。人類が恐竜のように絶滅しないように。

MESSAGE FROM EXTINGUISHED AND ENDANGERED CREATURES.

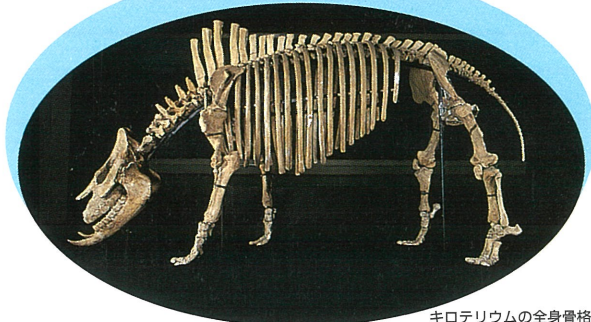
## 第2部

### 「哺乳動物たちの世界」



松花江マンモス

第三紀の哺乳類では、バクやサイなどの奇蹄類やゾウ類などの哺乳類を紹介します。第四紀の哺乳類では、松花江マンモスの下顎骨や臼歯化石、大変珍しい舌骨化石のほかナウマンゾウ、ブチハイエナ、アンダーソンダチョウなどのシラウス動物群と松花江マンモス、ケナガマンモス、コエロドンタなどのマンモス-コエロドンタ動物群の化石を見ることができます。



キロテリウムの全身骨格

## 主な展示内容

### 第1部

#### 「恐竜たちの王国」

- プシッタコサウルス全身骨格
- バクトロサウルス全身骨格
- アーケオルニトミムス全身骨格
- プロトケラトプス産状化石
- 子供の入った卵の巣
- ヌオエロサウルス歯・脊椎骨 など

### 第2部

#### 「哺乳動物たちの世界」

- キロテリウム全身骨格
- コエロドンタ全身骨格
- 松花江マンモス下顎骨・臼歯・舌骨
- 世界最小のマンモス頭骨 など

### 第3部

#### 「内モンゴルの絶滅の危機に瀕する希少動物」

- フタコブラクダ剥製
- ユキヒョウ剥製
- ライチョウ剥製
- オコジョ剥製
- クロトキ剥製
- サケイ剥製 など

### 展示平面図

